

(お 知 ら せ)



平成19年 10月 3日

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（10月 3日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	平成19年2月16日より第31回定期検査中 （調整運転中において平成19年9月26日より原子炉再循環ポンプメカニカルシール点検に伴い原子炉停止中）
2 号 機 加圧水型（116万kW）	平成19年8月26日より 第16回定期検査中

※定期検査の工程表は別紙のとおり。

2. 保全品質情報等について（平成19年9月6日～平成19年10月3日）

（1）法律に基づく報告事象や安全協定の異常時報告事象に該当する重要な事象

- ・ 敦賀発電所1号機の原子炉手動停止について
（原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下）

第31回定期検査の調整運転中（9月1日調整運転開始）のところ、3台（A、B、C号機）ある原子炉再循環ポンプのうち、A号機の軸封部（メカニカルシール）の第2段シール部から機器ドレンサンプに回収されるシール水の量が通常値の範囲ではありますが、9月9日頃より徐々に増加する傾向が認められ、今後の運転に万全を期すため、9月26日、計画的に原子炉を停止し、当該軸封部を取り替えました。

また、C号機の軸封部についても、9月13日頃から、第2段シール部からのシール水量が通常値の範囲内で変動していることから、取り替えました。

今回のシール水の増加や変動は、今調整運転開始後、シール部の圧力や主軸との隙間等が僅かに変動した際、原子炉冷却材中の微細な異物（クラッド）が軸封部に流れ込み、第2段シール部を僅かに傷付け、シール機能が低下したためと推定されました。

今後、原子炉再循環ポンプの試運転を実施し、原子炉を起動、調整運転を再開する予定です。

《平成19年9月25日、10月2日 記者発表済》

(2) 安全協定の異常時報告事象に該当する軽微な事象
な し

(3) 前記(1)及び(2)に該当しない軽微な事象

1) 敦賀発電所1号機制御棒駆動ユニットのプラグ点検について

第31回定期検査の最終段階である調整運転中の平成19年9月8日、制御棒駆動ユニットのアクキュレータ※¹全73体の圧力確認試験※²を行っていたところ、1体で僅かな圧力低下が認められました。

このため、漏えい箇所を調査した結果、窒素を充填するためのプラグ(以下、「プラグ」という。)のねじ込み部で、僅かな漏れが見つかりました。

また、他のアクキュレータのプラグねじ込み部についても漏えいの有無を調査した結果、2体で僅かな漏れが見つかりました。

アクキュレータの圧力は保安規定で定める制限値を十分満足しており、プラントの運転に影響をおよぼすものではありませんが、予防保全の観点から9月11日に計画的に運転上の制限外に移行してプラグ3体のシール材※³を新たなものに取り替え、漏えい確認により漏れがないことを確認しました。

なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

※1: アクキュレータ

原子炉緊急停止時に制御棒を挿入するための駆動源の水、窒素が充填されている円筒状の容器。

※2: 圧力確認試験

保安規定で定める運転上の制限を満足していることを確認するために、アクキュレータの圧力が「6.47 MPa以上」であることを1週間に1回確認する試験。

※3: シール材

ねじ込み部の隙間を埋め、気体や液体の漏えいを防ぐためのもの。

《平成19年9月14日ホームページ掲載済》

2) 敦賀発電所2号機 B蒸気発生器2次側管板上面での異物確認について

第16回定期検査中の9月17日、蒸気発生器4台のうち、B蒸気発生器2次側管板上面を小型カメラを用いて点検を行っていたところ、管板上面の伝熱管隙間部に異物を確認しました。

このため蒸気発生器内から当該異物を取り出し調査を行った結果、異物は重さ約0.5グラム、長さ: 約60mm、幅: 約5mm、厚さ: 約0.2mmの薄板状でステンレス鋼と確認されました。

今後、当該異物の特定や、発生源の調査を行うとともに、すべての蒸気発生器2次側管板上面等の点検を実施します。

本事象による周辺環境への影響はありません。

《平成19年9月25日ホームページ掲載済》

3. 東海第二発電所及び敦賀発電所の保安規定の変更認可について

平成19年5月7日、経済産業大臣より保安規定の変更命令*を受け、平成19年7月31日、経済産業大臣に東海第二発電所及び敦賀発電所の保安規定の変更認可を申請しておりましたが、平成19年9月7日、経済産業大臣より認可を受けました。

*: 「保安規定の変更命令」の項目

・ 経営責任者の関与(東海第二発電所、敦賀発電所)

- ・原子炉主任技術者の位置付け（東海第二発電所、敦賀発電所）
- ・計器校正の確認（東海第二発電所）
- ・運転上の制限からの逸脱時又は技術基準への不適合発生時における経営責任者への報告（敦賀発電所）
- ・保修工事に係る記録（敦賀発電所）
- ・巡視点検の充実（敦賀発電所）

《平成19年9月7日 記者発表済》

4. 敦賀発電所2号機 使用済燃料輸送計画の変更について

平成19年度敦賀発電所年間保守運営計画において、敦賀発電所2号機使用済燃料の輸送時期を「第1四半期」としておりましたが、関係各社と調整した結果、敦賀発電所2号機使用済燃料の今年度の輸送は行わないこととしました。

《平成19年9月18日 記者発表済》

5. 柏崎刈羽原子力発電所で観測されたデータをもとに行う東海第二発電所及び敦賀発電所1, 2号機における概略影響検討結果について

平成19年8月20日、経済産業大臣より、当面の自主的な検討として、新潟県中越沖地震の際に柏崎刈羽原子力発電所で観測されたデータをもとに、東海第二発電所及び敦賀発電所1, 2号機の主要設備への概略影響評価を実施し、1ヶ月を目途に報告することとしておりましたが、検討の結果、新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所原子炉建屋における観測地震動によっても、東海第二発電所及び敦賀発電所1, 2号機の安全上重要な機能を有する主要な施設の安全機能は維持されるものと考えられ、平成19年9月20日、検討結果の報告書を経済産業大臣に提出しました。

《平成19年9月20日 記者発表済》

6. 敦賀発電所原子力事業者防災業務計画の修正について

原子力災害対策特別措置法に基づき、昨年9月29日に修正した敦賀発電所原子力事業者防災業務計画につきまして、同法に規定されている毎年の見直し検討を実施し、関係自治体との協議を経たうえで、平成19年9月28日、同計画を修正して経済産業大臣へ届け出ました。

《平成19年9月28日 記者発表済》

7. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について（10月3日現在）

（1）防波堤・護岸等の構築

- ①敦賀市内用地でのコンクリートブロック製作は全て完了し、現在、順次建設予定地へ運搬し防波堤・護岸に設置しています。
- ②海上工事については、ケーソン据付を9月中旬に完了し、ケーソン上部へのコンクリート打設等を実施しています。

（2）敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに埋立工事を実施しています。

8. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) グループ森の風 切り絵の部 作品展

〔グループ森の風（代表：増田 妙子 様）4名の皆様による切り絵作品展です。メンバー各自がそれぞれの想いで、四季の風景や花など身近な題材を写真に撮り、デッサンして制作した作品を29点展示。〕
(9/25～10/7)

2) 世界一周写真と写仏の兄妹展

〔敦賀市在住の柄島 政人様と岡本 美晴様兄妹の合同展示会です。柄島様は、10ヶ月間かけて世界一周した際に撮影された世界各国の写真を約30点展示予定です。岡本様は15年続けておられる書道や写仏、水墨画を5点展示予定。〕
(10/9～10/21)

3) 第2回 パッチワークキルト 合同作品展

〔木田パッチワーク教室とろうきん年金友の会パッチワーククラブ（代表：木田節子様）の皆様によるパッチワーク合同作品展です。ベッドカバー、タペストリー、バック、小物などの作品を約150点展示予定。〕
(10/23～10/28)

4) 懐かしの映画ポスター展 ～名作からゴジラまで～

〔敦賀市在住の萩山芳彦様による映画ポスター展です。萩山様が趣味で集められた昭和30年代から40年代の邦画・洋画の映画ポスターを約120点展示予定。〕
(10/30～11/11)

(2) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

・福祉演芸会 ＜コメディパーフォーマンス＆歌謡ショー＞

出 演：揚野 バンリ（コメディパーフォーマンス）
林田 麻友子（演歌歌手）

日時／場所：	10/9	10:00～11:00	敦賀市溪山荘
		14:00～15:00	若狭町ゆなみ
	10/10	10:30～11:30	福井市アルマ千寿
		14:00～15:00	坂井市ディーバあかね
	10/11	10:00～11:00	福井市文殊苑
		14:00～15:00	越前市シルバーケア藤

以 上